

青 瞬

瞬きも忘れ
見逃すな！
青春のきらめきを



日本代表を目指して

PTA会長 降矢 貴之

PTA活動にいつも温かいご支援をいただき、誠にありがとうございます。
まずは、先日のバザーにご協力いただいた皆様へ、深く感謝の意をお伝えしたいです。お忙しい中、ご協力いただき本当にありがとうございました。皆様の暖かいご支援のおかげで、学校の教育環境の向上に役立つ事が出来ました。心からのお礼を申し上げます。

さて、私は現在趣味でスポーツに取り組んでいます。その歳で?と思われるかもしれませんが、日本代表を目指して頑張っています。これは高校時代の恩師との出会いがスタートです。一高を卒業後、年月を経て今に至ります。

出会いの大切さを改めて感じています。学校生活には子どもたちにとって大切な出会いが数多くあります。友達や恩師との出会い、新しい趣味や興味を見つける出会いなど、それぞれが子どもたちの成長に繋がる貴重な瞬間です。私たちPTAも、子どもたちが素敵な出会いを経験し自己を発見して、未来が豊かになるよう支えることができればと思っています。

今後も学校行事や様々な活動を通じて、保護者同士や教職員との交流を大切にしていきたいです。子どもたちが充実した学校生活を送れるよう、皆様のご協力とご支援をお願い致します。



コミュニケーション力

校長 安達 徹

先日、本校写真部が春季審査会(年2回開催の県大会)において見事に団体優勝をしました。その講評の中で、本校写真部員が人物写真に積極的に挑戦している点を高く評価していただきました。

人物を撮る際には、撮影のお願いや表情を引き出すための会話等、撮影者の高いコミュニケーション力が必要とされるのだそうです。撮影する相手に対して敬意を持ち、相手から信頼されるための努力をすることで初めて納得のいく作品を創ることができるのだと思います。

新しい学習指導要領においても、主体的・対話的で深い学びのために、他の人とコミュニケーションをとりながら協働する力が重視されています。本校でも授業をはじめ学校生活の様々な場面で、議論し協働する教育活動が行われています。

一高の生徒はとても真面目で前向きです。ひとつひとつの場面で真摯に誠実に周囲と向き合い協働している姿を目にします。今回の写真部の活躍は、そうした一高生の姿勢を象徴しているのだなと嬉しく思っているところです。

いっしょに育てていきたいから。

PTA副会長 3学年委員長 神宮寺 聡

生徒の活動を応援したい。保護者の方々からの善意が集まり、一高祭のバザーとして形になりました。「青瞬」をテーマに、青春は一瞬、そんな生徒たちの思いが一高祭として形になりました。先生方のご支援のもと、保護者、生徒それぞれに素晴らしい一高祭が実現できたと思います。何かを実現するには、意思の力がある。それぞれの進路実現に、どんな意思を持っていますか？毎日何気ない選択の積み重ねが君たちの人生を作り上げていきます。

今日この瞬間を大切に過ごしていますか？何年、何十年か後に一高で過ごした青春の日々を思いだし、あの時の思いが、あの時の選択が、今の自分を形作っていると思えるようになってほしい。応援しています。

PTA副会長 2学年委員長 鈴木 重人

昨年に引き続き副会長を拝命いたしました2年生代表 鈴木重人です。

私は言霊であると思っています。例えば、面倒くさいが口癖になっていけば、だんだん面倒くさくなっていくし、楽しいと口ずさめば、他人から大変だねって思われることも、本人結構楽しくやっていたり(笑)前向きな言葉が出る人って強いなあと思います。私は、皆さんには卒業後、置かれた場所で花を咲かせ、深く深く根を張り、どんな困難にも負けない、社会を生き抜く力を養ってもらいたいです。そのために必要な第一歩って「明るく楽しく元気よく」なのかな。まずは強行遠足！ポジティブな言葉を出して楽しんで下さい。きつよいい思い出になるはずですよ。

PTA副会長 1学年委員長 高相 正樹

コロナ禍の3年間、世の中が閉じこもっている間に急速にデジタル化が進み、ネット空間で誰とでも繋がる世界が広がっています。私の所属する建築設計事務所では、BIM(ビム)と呼ばれるモデリングソフトで3Dのバーチャル建築を描き、建物の中も外も自由に見て回る動画でのプレゼンテーションやオンラインでの会議が当たり前になりました。世間の常識が劇的にchangeしてゆくこれからの時代、皆さんの前には多くのchanceが転がっています。世の流れをchaseして、失敗を恐れずchallengeして、創造・貢献できるcharacterになってください。高校生活はそのための学びを深め知識をchargeする期間です。

話題のChatGPTも使い方を間違えないようにしましょう。貴重な3年間が充実したものになるよう、三拍子でエールを送ります。「一高生、Cha・Cha・Cha!」



生徒自治会会長 有賀 心咲

始まってしまえば、一瞬だった。まさに「青瞬」のテーマの通り、みんなで一丸となり勝利に向かって突き進む、あの青春が詰まった「一高祭」というドラマについて終止符を打つ時が来た。このドラマには楽しいことだけではなく、つらいことや大変なこともたくさんあった。時には壁にぶつかり、時には仲間とぶつかり合いながらも、仲間とともに手を取り合い突き進み「最高の一高祭」を迎えることができた。一高祭3日間のあの「青春」は一高生みんなの努力のたまものである。また今年度は3年振りに制限付きではあるものの、一般公開に踏み切ることができた。私たちが全力をぶつけ、一高祭をやり切れたのは、日頃よりご支援ご協力いただいている、保護者、地域の皆さん、並びに同窓会の皆様方のおかげである。この場を借りて、生徒一同感謝申し上げます。様々なことが制限されてきた私たちにとって、第76回一高祭を開催できたことは、間違いなく「最高の青春の1ページ」になった。この伝統ある一高祭がこれからも末永く受け継がれていくことを心より願っている。

一高祭実行委員長 降矢 夢莉

入学当初から楽しみにしていた一高祭。過去2回ももちろん楽しかったけれど、一般公開のない一高祭をどこか寂しく感じていました。そして今回は私たちに初めて、一般公開のある一高祭。憧れていた一高祭がやっと出来たんだと今でも嬉しくてたまりません。各々全力だった準備期間も、違うクラスで違う作業をしていたのに不思議と全校が一つになっている気がしました。今回得た皆さんの経験は、今後も背中を押し続けてくれる大切なものです。皆さんにとってこの青い青い一瞬が、同じく輝かしいものであることを心から祈っています。本当にありがとうございました。

強行遠足

総務広報主任 内藤 浩

一高祭と並行して強行遠足の保護者協力者の募集を始めた。7月4日現在、目標数の560人まであとわずかである。昨年の強行遠足は、保護者558名、同窓会233名、医療関係者54名、令和3年度の卒業生50名、合計895名が関わった。参加した生徒は、男子326名、女子364名、合計690名であった。

男子104.0キロメートル、女子41.6キロメートルを歩き通そうとする強行遠足は、甲府一高の伝統行事である。そして、生徒は勿論のこと、強行遠足に関わる全ての方々にとって、一番大切なことは「安全」である。校内の強行遠足実行委員会、強行遠足同窓会幹事協力者会議、直前の強行遠足協力者合同会議等を通して、「安全」な強行遠足を実施するために、様々な準備が続いていく。

<http://www.first.kai.ed.jp/>

一高ホームページは、保護者向けのサイトも充実!!
保護者向けに発行している便り、学校ホームページでも閲覧できます。
学校行事や生徒会活動、トピックスなどの情報が盛りだくさん!!
ぜひご覧ください。一高の「今」を実感いただけます。

携帯電話からは、右のQRコードよりアクセス!!



甲府第一高等学校PTAだより **We are KOFU FIRST HIGH SCHOOL. 1st 2023 July**

発行◎山梨県立甲府第一高等学校PTA
〒400-0007 山梨県甲府市美咲2丁目13-44 tel.055-253-3525 fax.055-253-3527
発行日◎令和5年7月21日
編集◎山梨県立甲府第一高等学校PTA広報委員・総務広報係